

名高い史跡から  
知る人ぞ知る隠れた史跡まで—

# 歴史資源MAP

空港周辺市町—10市町—

空港周辺エリアには誰でも知っている有名な史跡以外にも隠れた史跡が数多くあります。足回りのよいこのエリア、是非訪ねてみては？



**1 静岡市 久能山東照宮**  
久能山東照宮は、徳川家康の遺訓により創建され、家康が埋葬された神社です。境内の博物館には、徳川家ゆかりの貴重な品々が展示されています。また、晴れた日には伊豆半島から御前崎まで一望できる絶景を楽しめます。

静岡市駿河区板倉390  
関連人物 徳川家康

**2 静岡市 静岡市歴史博物館**  
徳川家康の生涯、家康を育てた今川氏、そして家康が造り上げた駿府城下町の歴史を、最新のデジタル技術も織り交ぜた展示で、楽しみながら学ぶことができます。戦国時代末期の道と石垣の遺構も見どころです。

静岡市葵区追手町4-16  
関連人物 徳川家康、今川義元、氏真

**3 静岡市 静岡浅間神社**  
家康が元服を行ったとされ、徳川家が代々崇拝していた神社です。社殿26棟が重要文化財に指定されています。境内には大河ドラマ館も期間限定で開館しており、静岡市と家康のつながりを感じられる展示が楽しめます。

静岡市葵区宮ヶ崎町1102-1  
関連人物 徳川家康

**4 焼津市 井伊直孝産湯の井**  
江戸幕府樹立の立役者といわれる井伊直孝は、焼津の中里で産まれたと伝わり、その産湯を汲んだ井戸が残っています。父は「徳川四天王」の1人井伊直政。直孝は家康の信濃が厚く、大坂夏の陣では大きな軍功を上げ、3代将軍家光の後見人に指名されるなど、江戸幕府歴代将軍から厚い信頼を受けました。

焼津市中里 周辺  
関連人物 井伊直孝、徳川家康

**5 焼津市 若宮八幡宮**  
井伊直孝が京都の石清水八幡宮を勧進し、再建した神社です。焼津市指定文化財の棟札には、当社が直孝の氏神であるため、荒廃していた社殿を再建したことが記されています。境内に残る天保年間建立の石橋も市指定文化財です。

焼津市中里1000  
関連人物 井伊直孝、徳川家康

**6 焼津市 焼津神社**  
創建は1600年以上前の反正天皇4年(西暦409年)。主祭神は日本武尊(ヤマトタケルノミコト)。焼津の地名が生まれたと伝わる神社です。延喜式内社で、現在の本殿は徳川家康の命により建立されました。また、今川氏も社領を寄進しており、今川氏真の朱印状が残っています。

焼津市焼津2丁目7-2  
関連人物 徳川家康、今川氏真

**7 藤枝市 東海道宇津・谷峠越・つたの細道**  
天正18年(1590年)に、豊臣秀吉が小田原原野に向かう大軍を運ぶために、狐籠整備したとされる峠越えの道です。江戸時代には「東海道」として、参勤交代の大行列や多くの旅人が往来し、その様子は歌川広重の浮世絵にも描かれています。つたの細道は、平安時代の「伊勢物語」にも登場する、名高い宇津・谷峠越えの道。天正18年(1590年)に旧東海道のルートが開通するまでは多くの人々が往来しました。

藤枝市岡部町岡部  
関連人物 徳川家康

**8 藤枝市 岡部宿大旅籠柏屋・内野本陣史跡広場**  
天保7年(1836年)に建てられた江戸時代の旅籠です。国登録有形文化財のほか、日本遺産構成文化財にも認定。当時の旅籠の様子や人々の暮らしが学べる。歴史資料館として公開されています。隣接する本陣史跡広場には、表御門や外庭などが復元されており、江戸時代の街並の情緒や宿場の面影を感じることができます。

藤枝市岡部町岡部817  
関連人物 徳川家康

**9 藤枝市 史跡田中城下屋敷**  
江戸時代に出世城と言われた田中城は、500年ほど前に一色信茂が今川氏の命を受け築城した徳一色城が起源です。その東側にあった下屋敷跡には、ゆかりの建物や庭園を移築・復元。当時のしるべがわかります。

藤枝市田中3-14-1  
関連人物 徳川家康

**10 島田市 千葉山智満寺**  
標高496メートルの千葉山の山中にある天台宗の古刹。寺伝によると、神護景雲年中(767-769)に、鑑真の法孫にあたる広智(こうち)という高僧がこの地に草庵を結び、宝亀2(771)年に、光仁天皇の勅願により鎮護国家の御願寺になったのが智満寺の創建といわれています。

島田市千葉254  
関連人物 源頼朝、徳川家康

**11 島田市 蓬莱橋**  
明治12(1879)年1月13日に完成。平成9(1997)年12月には英国キネス社から「世界一長い木造歩道橋」として認定を受けました。長い木=長生きの橋、全長897.4m(やぐら=厄無し)の語呂合わせで縁起のいい橋としても人気があり、数多くの映画やドラマのロケ地にもなっています。

島田市南2丁目地先  
関連人物 徳川家康

**12 島田市 諏訪原城跡**  
天正元(1573)年、武田勝頼が家臣の馬場(美濃守)信春(はまのののみぶはる)に命じて築城。天正3(1575)年に徳川家康によって攻め落とされた山城です。現在でも三日月見と馬出がセットになった丸馬出や横堤(よこぼり)が良好な形で残っており、戦国時代の山城の特徴を残しています。

島田市菊川1174  
関連人物 武田勝頼(美濃守信春)、徳川家康、松平定忠、今川氏真、備前元忠

**13 吉田町 家康御陣場跡**  
徳川軍が、武田軍の出城があった高天神、塩塚、小山、田中の連絡、補給を牽制し、分断しようとして、しばしば前進陣地を大井川の八幡の森におきました。

吉田町大幡1139(八幡神社境内)  
関連人物 徳川家康

**14 吉田町 能満寺のソテツ**  
日本三大ソテツの一つに数えられ、安倍晴明や徳川家康との逸話が残る巨大なソテツです。

吉田町片岡2517-1(能満寺境内)  
関連人物 徳川家康

**15 吉田町 小山城跡・能満寺公園**  
能満寺公園は、武田軍の山城があった小山城跡を整備して作られた公園。小山城は武田の築城手法を生かした平山城でした。公園内には、武田氏の築城技術の特徴とされる三日月見(半月型の堀)を三つ並べた三重堀が現存されています。

吉田町片岡2519-1  
関連人物 武田勝頼、徳川家康

**16 牧之原市 石雲院**  
康正元年(1455年)、勝間田氏によって開創された曹洞宗の名刹。戦国時代、武田家の兵火によって焼失しましたが、地元の人々や徳川家康の支援によって復興し、遺州第5位の153石を誇る大寺となりました。天保15年(1844年)建築の山門は、家康の遺所・日光東照宮の陽明門を模したとされています。

牧之原市坂口1251番地  
関連人物 徳川家康、武田家

**17 牧之原市 勝間田城跡**  
鎌倉時代から室町時代中期まで、この地を領有した「勝間田氏」の本城で典型的な山城です。築城は南北朝のころとされています。北朝の手によって、文明8年(1476年)落城しました。城跡は、標高120mの上にあつて、本曲輪、二の曲輪、三の曲輪、土塁などがそのまま残っています。

牧之原市勝田216005番地  
関連人物 今川氏

**18 牧之原市 大鐘家**  
遺州最古といわれる古民家を誇る旧家。主屋は約300年前、長屋門は約240年前の建物で、国の重要文化財となっています。大鐘家の先祖は、かつて徳川家(徳川家康?)に仕える旗本だったと伝えられています。あじさいや酔芙蓉など花の名所としても知られています。

牧之原市片浜1032番地  
関連人物 徳川家康

**19 川根町 小長谷城址**  
小長谷城址は城域が広い上に守りを厳重にするための様々な工夫が施された。戦国時代に武田氏、徳川氏による駿河・遠江の領有を争う緊迫した情勢を今に伝えています。武田勝頼により城の大改修が行われたものと思われる。

川根町東原11228  
関連人物 武田勝頼

**20 御前崎市 閑田院**  
天正3年(1575年)に織田・徳川連合軍と武田勝頼軍との間で長篠の合戦を行った際、徳川方に命じられた閑田院が武田軍の調伏の大祈禱を行い、織田・徳川連合軍の大勝に終わったため、徳川家の武運長久の祈禱寺とされています。

御前崎市下朝比奈156-1  
関連人物 織田・徳川連合軍

**21 御前崎市 左馬武神社**  
左馬武神社は、戦国時代の武将 新野左馬助親矩の墓とされる石塔(五輪塔)があります。新野左馬助親矩は、徳川家康は武田勝頼から高天神城の奪還に成功。中世城郭と近世城郭の特徴を併せ持った平山城で、国の文化財に指定されています。

御前崎市新野字上組2198-2  
関連人物 新野左馬助親矩、井伊直政

**22 御前崎市 白羽地区白羽柑子植物園**  
今から450年前、武田軍に追い詰められた家康公は白羽の安西と左衛門の大きなミカンの中に隠れ難を逃しました。天下平定後、大御所となったからも白羽の郷で食べたミカンの味が忘れられず、白羽神社の神主に献上を命じたと伝えられています。

御前崎市白羽字新神子  
関連人物 徳川家康

**23 菊川市 横地城跡**  
横地城は、室町期に遠江国の有力国人「横地氏」の本城として築かれた山城です。横地氏は、旧横地村周辺を本拠地として、平安末期から戦国時代初期頃まで栄えていたが、文明8年(1476年)に今川氏に滅ぼされました。全国の横地姓発祥地としても知られ、城跡には石により横地神社が建立されています。

菊川市東横地城内  
関連人物 今川氏

**24 菊川市 善勝寺**  
徳川家康が高天神城攻めのために、この地に来て陣屋にしたところ、戦況が好転したため、寺の名前を「善勝寺」に改めたという伝承が残っています。

菊川市額原2630  
関連人物 徳川家康

**25 菊川市 獅子ヶ鼻岩跡**  
獅子ヶ鼻岩は徳川家康が天正8年(1580年)頃に、高天神城を包囲攻撃するために築いたもので、大須賀康高が守っていたといわれ、小笠山・中村若・能ヶ坂・火ヶ峰・三井山・岩などにも築いた6基の一つです。岩跡からの展望はすばらしく、特に東方に富士山を望む景色は絶景です。

菊川市大石1番(蓮池公園内北側)  
関連人物 徳川家康

**26 掛川市 掛川城**  
室町時代、駿河の守護大名今川氏が家臣の朝比奈氏に命じて築城させました。1568年、徳川家康は、半年間の攻防の末、武田に連れられ掛川城に籠った今川氏真を降伏させました。平成6年に「東海の名城」と呼ばれた美しさをそのままに、日本初の本道天守閣として復元され、平成18年には「日本100名城」に認定されています。

掛川市掛川1138-24  
関連人物 今川氏真、徳川家康、山内一豊

**27 掛川市 高天神城跡**  
「難攻不落の名城」と呼ばれた天然の要害。標高132mの鶴籠山の地形を生かした山城で徳川、武田が攻防を繰り返しました。家康は横須賀城を拠点とし、武田から高天神城を奪還しました。平成29年に「続日本100名城」に認定されています。

掛川市上土方嶺向3136  
関連人物 武田勝頼、徳川家康

**28 掛川市 横須賀城跡**  
徳川家康が高天神城攻略の拠点として、家臣の大須賀康高に命じて築城されました。横須賀城を拠点とし、徳川家康は武田勝頼から高天神城の奪還に成功。中世城郭と近世城郭の特徴を併せ持った平山城で、国の文化財に指定されています。

掛川市山崎1-1  
関連人物 徳川家康

# 家康ゆかりの食べ物がよみがえる！ 「武士のめし」



伝承に記された家康の食が、現代のアレンジを経て、提供開始！  
主催：静岡県中部地域局

**藤枝市**  
萩原こうじや  
「自家製みそ」  
みそ・塩  
藤枝市岡部町内谷94-2

**藤枝市**  
紅屋  
「長寿柿」  
柿  
藤枝市藤枝4-1-9

**島田市**  
和蔵  
「朴葉ステーキ」  
みそ  
島田市本通2丁目4-27

**静岡市駿河区**  
儀やまだい 登呂「もちの家」  
「安倍川もち」  
安倍川もち  
静岡市駿河区登呂5丁目15-13

**静岡市駿河区**  
株東海軒  
「家康公の駿河御膳」  
なす・鯛・安倍川もち・わさび  
静岡市駿河区登呂6丁目5-35

**藤枝市**  
香音季(かねき)  
「武士の膳」  
なす  
藤枝市大東町516-3

**浜松市中区**  
魚魚一(とといち)  
「将軍丼」  
なす・鯛・わさび・麦飯  
浜松市中区有町318-28 ベッシービル3階

**静岡市葵区**  
府中かかわで・食彩若生(いわお)  
「金な粉麵(きなこめん)」  
そうめん  
静岡市葵区興銀町2-3-10 1階C

**静岡市駿河区**  
レストランAoki  
「家康公のお八つ」  
茶・あずき  
静岡市駿河区泉町1-27

**静岡市駿河区**  
ホリルグランヒルズ静岡 日本料理花露  
「家康弁当」  
美飯・みそ・鯛・安倍川もち  
静岡市駿河区南町18-1

**静岡市清水区**  
鮎処やましち  
「家康カレー」  
なす・山椒  
静岡市清水区蒲原3-3-10

**藤枝市**  
緑カフェ 天神森  
「朝比奈ちまき」  
朝比奈ちまき  
藤枝市岡部町新舟1310-15

**浜松市中区**  
懐石いっ木(いっき)  
「朝比奈ちまき」  
朝比奈ちまき  
浜松市中区田町329-8

**熱海市**  
海幸楽膳 釜つる  
「家康御膳」  
鯛・すずき ※お好みの干物の選別にし、お好みで変わります  
熱海市銀座町10-11

**静岡市清水区**  
BonMasuda (ボンマスダ)  
「家康公が愛したお茶のテリヌ」  
茶  
静岡市清水区江尻東1-3-15

**磐田市**  
和食処なかや  
「めで鯛たべ鯛 家康御膳」  
鯛  
磐田市上野部1649-1

提供店舗大募集!

メニューは  
続々追加中



「武士のめし」の  
公式Instagramはこちら

期間限定で提供される場合がありますので、  
お出掛け前に提供店舗に御確認ください

**静岡市**  
市内に店舗があるほか、お土産としても人気  
安倍川餅 -あべかわもち-  
茶屋に立ち寄った家康公に、安倍川でとれる砂金に見立てたきな粉をまぶした「安倍川」の金の粉もちを献上したことから名付けられたと伝承される、人気の銘菓です。  
関連人物 徳川家康

**静岡市**  
市内に直売所や折戸なすを使った料理を提供するお店もあり  
折戸なす -おりどなす-  
家康公が好物であったといわれているなす。一説では家康が作ったとされる「富士二鷹三茄子」ということわざのなすは折戸なすのことであるとも、まんまるな形をしており、味は甘みがあり、濃厚な味わいです。  
関連人物 徳川家康

**静岡市**  
駿府の工房 匠宿 -すんぶのこうぼうたくみしゅく-  
静岡市駿河区丸子3240-1  
今川・徳川時代から受け継がれる竹千筋細工などの静岡市の伝統工芸づくりを体験できる施設です。2021年にリニューアルオープンしカフェやビール醸造所なども併設された様々な世代の方が楽しめる施設です。  
関連人物 今川氏・徳川氏

## 静岡の推し 各高い史跡・見どころから

**焼津市**  
鯉節 -かつおぶし-  
昔から鯉節は、保存食や非常食として重宝され、徳川が「勝負武士(かつおぶし)」に通ずることから、徳川家康をはじめ多くの戦国武将や武士に縁起物として珍重されました。  
関連人物 全般

**焼津市**  
黒はんぺん -くろはんぺん-  
徳川忠長が台所方の戸川半兵衛に作らせたのが始まりとされています。「はんぺん」の名の由来は、するがの料理人「半平」が作ったことからという説や、半月型の形状から「半片」と呼ばれるようになったなど諸説あります。  
関連人物 徳川忠長・戸川半兵衛

**焼津市**  
焼津弓道具 -やいづきゅうどうぐ-  
甲斐武田氏の家臣が今川時代、静岡に転居し矢師を始めたのが最初といわれています。その後、この一帯は徳川幕府の直轄地となり、幕府は平民にも弓を持たせ、時折神社などに人々を集め頼みあわせ、天下の大事に備えました。  
関連人物 武田一族・今川一族・徳川一族

**静岡市**  
梅ヶ島温泉郷 -うめがしまおんせんきょう-  
静岡市葵区梅ヶ島  
かつて、武田信玄の隠し湯として、武士たちが傷を癒す湯治場であったとされ、江戸時代には徳川家康をはじめ江戸幕府にも大事にされた温泉地でもあります。平成29年には、環境省より「国民保養温泉地」の指定を受けました。  
関連人物 武田信玄・徳川家康

**静岡市**  
静岡まつり -しずおかまつり- (4月上旬実施)  
静岡市葵区駿府城公園 等  
大御所となった徳川家康公が大名や旗本を引き連れて花見をしたという故事に由来したお祭りです。会場となる駿府城公園の桜の見物や「大御所花見行列」をメインに多くの賑わいを見せるお祭りがあります。  
関連人物 徳川家康

**静岡市**  
東海道広重美術館 -とうかいどうひろしげひつ美術館-  
静岡市清水区由比297-1  
江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名品を中心に約1,400点が収蔵されている美術館です。館内には収蔵品の展示の他に、浮世絵の基礎知識を学べるコーナーや、浮世絵版画鑑賞を体験できるコーナーも設置されています。  
関連人物 歌川広重

**静岡市**  
東海道広重美術館  
静岡市清水区由比297-1  
江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名品を中心に約1,400点が収蔵されている美術館です。館内には収蔵品の展示の他に、浮世絵の基礎知識を学べるコーナーや、浮世絵版画鑑賞を体験できるコーナーも設置されています。  
関連人物 歌川広重

**藤枝市**  
朝比奈大龍勢 -あさひなおおりのせい-  
藤枝市岡部町  
2年に一度行われる朝比奈川沿いの地域に古くから伝わる伝統行事で、戦国時代の「狼煙」がルーツと言われています。秋空に向かって、白い煙をあげながらまっすぐに伸びていく屋打ち、夜空を幻想的に彩る夜打ちと、勇壮な巨大口ケツ花火の姿は多くの人の目を惹きつけてくれます。  
関連人物 全般

**藤枝市**  
瀬戸の染飯 -せとのそめいい-  
江戸時代の十返舎一九の「東海道中膝栗毛」でも紹介されている名物。くちなしの実で染めたおこわを干したもので、足腰の疲れをとる食べ物として旅人に評判でした。現在はおにぎり型で再現販売されています。  
関連人物 十返舎一九

**吉田町**  
展望台小山城 -てんぼうだいこやまじょう-  
吉田町片岡2519-1  
小山城の物見台があったとされる二の郭跡に、昭和62年に建てられた観光施設。国宝大山城を模した天守閣型の展望台。展望台からは富士山や南アルプス、伊豆半島などを楽しむことができます。  
関連人物 徳川家康

**静岡市**  
丸子のどろろ汁 -まりのどろろじゆ- (丁子屋 等)  
静岡市駿河区丸子7-10-10(丁子屋の住所)  
松尾芭蕉、十返舎一九、歌川広重の作品にも登場する東海道五十三次・丸子宿の名物です。江戸時代、スタミナが付く料理として旅人に人気であったとされ、東海道を歩く多くの旅人が立ち寄り、これを食べたと書かれています。  
関連人物 松尾芭蕉・十返舎一九・歌川広重

**静岡市**  
追分羊かん -おいわけようかん-  
静岡市清水区追分2-13-21  
東海道五十三次・江尻宿の名物で、昔ながらの製法で当時の味を守り続けている商品です。江戸時代、江尻宿に立ち寄った旅人や参勤交代の大名等から人気の商品であり、徳川慶喜公も気に入り、賞味されたといわれています。  
関連人物 徳川慶喜

**御前崎市**  
切り干し芋 -きりばいも-  
江戸時代、御前崎沖で遭難した薩摩の船を大澤権右衛門という人物が助けたことをきっかけに静岡県にサツマイモが伝来。その後、県内にサツマイモ栽培が広がる中で、サツマイモを煮て包丁で薄く切ったものを天日で干す「煮切り干し芋」という手法が考案され、これが「干しいも」のはじまりとなったといわれています。  
関連人物 大澤権右衛門

**島田市**  
勝鬨餅 -かちどきもち-  
江戸時代に東海道「関の宿菊川(あいのしゆくきくがわ)」(金谷地区)の名物だった「餠餅(あめのもち)」を、江戸時代のレシピをもとに2015年に再現。餠餅は、徳川家康が関ヶ原の合戦の勝利にちなんで「御開運の餠餅」と名付けたお話しも伝えられています。  
関連人物 今川氏・徳川氏

**島田市**  
蓬萊橋DEいっふく  
-ほうらいばしでいっふく-  
島田市南2丁目地先  
旧藩臣たちが茶畑として開拓した牧原台地と島田宿を結ぶために、1879年に大井川に架けられた「蓬萊橋」。そのたもとに建つ「897.4(やくなし)茶屋」で羽織を着て、大井川のほとりで緑茶を楽しむ体験です。

**島田市**  
川越街道着物DEいっふく  
-かわごせかいどうきものでいっふく-  
島田市河原二丁目16-3  
江戸時代は東海道最大の難所として知られ、架橋や渡船が許されなかった大井川。旅人は川越人足に再乗してもらおうか、みこしのような乗り物の籠台(れんだい)で川を渡りました。そのころの料金所や待合所を再現した川越街道を着物で歩き、島田市博物館で文化を学び、緑茶を一服する体験です。

**島田市**  
諏訪原城DEいっふく  
-すわはらじょうでいっふく-  
島田市菊川1172-1  
武田勝頼が徳川攻めの際点として築城した諏訪原城跡。甲州流築城術の特徴である丸馬出や三日月堀が残っています。その向かいにある諏訪原園の緑茶ピクニックセットをもって、諏訪原城跡で緑茶を楽しむ体験です。

各高い史跡から  
知る人ぞ知る隠れた史跡まで

# 歴史資源MAP



静岡空港周辺市町エリアの歴史資源MAP

静岡の推し 各高い史跡・見どころから

家康ゆかりの食べ物がよみがえる! 「武士のめし」

静岡県中部地域局



mail: chubu-chik@pref.shizuoka.jp  
FAX 054-4419180  
TEL 054-4419169  
〒416-0075 静岡県静岡市駿河区南町1-2-72

各店舗のQRコードとキャラクターイラストが並ぶ。

